

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案 (JSA 嶽北追記)
勝俣	229 249 437 1508	4.1 4.3 5.5 c) A.7	9 行目 3 行目 1 行目 3 行目	Ge	229 行では、「事業環境の変化への」「適時・適切」な対応と表記し、249 では、229 と同じく「事業環境の変化」への対応を規定しているにも拘わらず「適時かつ的確」な対応と表記している。また、437、1508 では「事業環境の変化に的確」に対応としている  内容として、異なる意味ではないものの、使用する用語は統一するのが望ましいと考える。	229、249 437 及び 1508 の表記を合わせる。	検討の結果、229、249、の表記を「的確な」に修正いたします。  また合わせて 301、306 についても、次のとおり修正いたします。  「事業環境の変化に迅速かつ的確に対応するためには」
勝俣	975 1189	8.5.1 8.8.2	7 行目 14 行目	Ge	975 行では、「改ざんされない」と表記し、1189 行では、「改ざん、ねつ（捏）造」と表記している。昨今の企業不祥事では改ざんとねつ造のいずれもが発生し、どちらも防ぐべき事象であり、かつ、一応それぞれが示す意味が異なるため統一するのが望ましいと考える。	975 行の表記に「ねつ造」を追加する。	ご指摘のとおり修正いたします。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。